SPACE No.40

日本臨床心理身体運動学会会報第４０号　　2023 年 3 月 31 日

編集発行　日本臨床心理身体運動学会　会長　山中康裕

【第 24 回大会特集号】

昨年度の第 23 回大会（松本大学）に引き続き、2022 年 12 月 3 日 4 日に佐賀（西九州大学）にて第 24 回大会がオンラインとオンライン（zoom）でのハイブリッド形式で開催されました。現地にて参加された方も多く、懇親会の開催はかないませんでしたが、ワークショップ・研究発表・講演・シンポジウムとコロナ前の形を引き継ぎつつ、新しい学会大会の形を模索できたのではないかと思い割れます。

大会開催に尽力してくださった大会実行委員長をはじめ、発表者の皆さんのコメントを頂きました。

【一般研究発表をおこなって】　　宇土昌志（宮崎大学）

2022 年 12 月に開催されました第 24 回大会にて、一般研究発表をさせていただきました。まずこの場をお借りして、太田秀樹大会実行委員長はじめ、運営に携わった皆様、座長の名取琢自先生、指定討論者の山愛美先生、会場及びオンラインにてご参加いただいたフロアの皆様方、発表を後押ししてくださった中島登代子先生へ厚くお礼申し上げます。

おかげさまで大変貴重な体験をさせていただきました。発表してよかった、というのが率直な感想です。どうよかったか、というと言葉にしづらいのですが、一つは今も事例について、ふぅ～っと考え続ける、あるいは、考えを広げる新たな鉱脈を拓いてもらえたこと、でしょうか。当日は全然言語化できず、しどろもどろの説明で皆様にはわかりづらかったものと申し訳なく思う自分も多いにあるのですが、それにも関わらず先生方に包まれるような温かさとともに、いくつもご質問や貴重なコメントをいただけて私自身は大変有意義な時間を過ごさせていただいたと思います。

正直、初めての学会発表で、申し込んで以降、寝ても覚めても事例のことを考え、準備をしていて不安になることばかりでした。ですが、あれだけ競技に懸けるクライエントの姿を思い返していると励まされ、そして、このような選手の存在を知っていただきたいという想いが湧いていました。そうした勇気をくれたクライエントにも感謝し、発表を終えて、あらためて大事にしていきたい事例であると思いました。今回、山先生、名取先生、フロアの先生方に拓いていただいた鉱脈を、いざなっていただいたあの場とともに懐に抱いて、今後も研鑽を重ねていきたいと思います。

あらためて、この度は貴重な発表の機会をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

【事例研究発表という体験をつうじて】　　大島希（公徳会　若宮病院）

2022 年 12 月佐賀県の西九州大学で開催されました第 24 回大会で「発達障害の娘をもつ母として、発達障害をもつ当事者として」とのタイトルで事例研究発表の機会を頂きました。本学会での発表は、2015 年に一般研究発表をさせていただき 2 回目でした。また、原稿を書く機会もいただけたことは、

なぜこのケースを、と考えたか振り返る機会にもなりました。

１年の延期をへて実施された 23 回大会後に次は発表をしようと胸に秘め、いくつか候補に考えていた事例がありました。その中で今回の発表事例でいこうと決めたのは 8 月中旬の演題募集のお知らせを読み、この方の事例がなんとなく頭にでてきたからでした。最初に出会って 10 数年のカウンセリングは、社会的制度や状況の変化だけでなく、発表者自身も、所属先・職種・職名の変更など背景が動いていく中で継続をしていた経過でもありました。この方と関わり始めた時期は個別のカウンセリングの機会や経験がほとんどなく、いかに関れるかに苦心していました。この方からは「人と関ることのむずかしさ」「過敏さの中でどのように関わり、共に過ごすことができるのか」「どのような体験を蓄積できるとよいか」「（相手に）伝えている言葉と（本当は）伝えたい言葉、その不一致の中ですごされてきた生活上の大変さ」などの体験について教えていただけていたように思います。

近年の新型コロナウィルス感染症対策による制限の中で、対面式の事例検討だけでなく山形県外にでることは、発表者にとっても 3 年ぶりの非日常な体験でした。変に楽観的で、現実感のないふわふわとして（意識と感覚のズレという意味で）よくない意味で“かかっていた”“入れ込んでいた”状態だったと思い返します。いち早く会場に入り、時間が近づき、遅ればせながら落ち着かなくなりました。実際、発表資料の作成や確認をしていたプレゼン資料にミスがあったこと、前提となる背景を伝えていないこと、それに自分でも気づかずにいたこと、などなどには自分で自分に驚いていました。オンライン参加していただいた方のチャットもみえていながら、反応できずに申し訳ありません、頭の中はテンヤワンヤでした。そんな中で座長を務めていただいた槇山春香先生、指定討論者の中島登代子先生、岸本寛史先生の姿が視野にはいるようになり、姿勢の動きや仕草や声がけ、など雰囲気や所作からは大きな支えをいただきました。また、結晶化しきなかった不具合で閉じこもろうとした心をフロアーからいただいた発言やコメントから触発されることでほぐしていただきました。本学会での事例研究発表の場は、（数秒間の沈黙が無限に感じる）ミュート・画角や視野の限定されるオンライン空間でなく、対面式で実施していたからこその体験と感じています。

関係の蓄積、世の中といかにつながりを作っていくかという課題に取り組んできた事例と私の中で考えていましたが、コロナ禍の社会情勢の中だったからこそ、私自身も関係性や『つながり』を含めた体験自体ができる場と機会の大切さを再認識させていただきました。この場で、このタイミングで、人と関ること、場に支えていただく力を味わうことができたのは大きな体験でした。また、発表者自身の中の課題として、文章化していくことにもっと意識して取り組み、次の機会には、違った姿をおみせできるようにしたいと考えております。

最後になりますが、全国的な第 8 波の中で、本大会の実施にむけた様々な課題に対する調整や準備、なみなみならぬご苦労があったものと想像しています。その中で、当日の舞台を整えていただけた実行委員の先生、西九州大学の関係者の皆様、会場やオンラインで参加していただいていた皆様に、非常に深く感謝をお伝えできればと思っています。

ありがとうございました。

令和３年度　事業報告

【学会大会】

・第 23 回大会　令和３年 12 月４日（土）、12 月５日（日）　松本大学（長野県松本市）
およびオンライン「Zoom」

【学会誌　臨床心理身体運動学研究】

・第 24 巻第１号　　令和 ４年３月 31 日発刊

【会報　SPACE】

・No.38 発行　　令和３年 11 月５日発行
・No.39 発行　　令和４年３月７日発行

【学会研修会】

・第１期　　令和３年６月 13 日（日）　第 67 回　オンライン「Zoom」
・第２期　　令和３年９月 19 日（日）　第 68 回　オンライン「Zoom」
・第３期　　令和４年３月 13 日（日）　第 69 回　オンライン「Zoom」

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】

・第１期　　令和３年６月 13 日（日）　第 38 回　オンライン「Zoom」
・第２期　　令和３年９月 19 日（日）　第 39 回　オンライン「Zoom」
・第３期　　令和４年３月 13 日（日）　第 40 回　オンライン「Zoom」

※学会研修会および資格講習会の非会員参加について

これまでより多くの非会員の参加を募るため、以下の参加資格を設け、非会員の参加募集をおこなってきたが、今年度はオンライン開催により非会員募集はおこなわなかった。
［参加資格］①臨床心理士有資格者　②臨床心理士資格養成指定大学院生　③正会員の推薦を受けた者

【常任理事会】

・第１回　　令和３年６月 13 日（日）　オンライン「Zoom」
・第２回　　令和３年９月 19 日（日）　オンライン「Zoom」
・第３回　　令和３年 12 月３日（金）　オンライン「Zoom」
・第４回　　令和４年３月 13 日（日）　オンライン「Zoom」

【理事会】

・令和３年度理事会　令和３年 12 月４日（土）　松本大学およびオンライン「Zoom」

【総会】

・令和３年度総会　　令和３年 12 月５日（日）　松本大学およびオンライン「Zoom」

令和４年度　事業計画

【学会大会】

・第 24 回大会　令和 4 年 12 月 3 日（土）、12 月 4 日（日）　西九州大学 佐賀キャンパス（佐賀県佐賀市）およびオンライン「Zoom」

【学会誌　臨床心理身体運動学研究】

・第 25 巻第 1 号　　令和 5 年 3 月発刊予定

【会報　SPACE】

・No.40
・No.41

【学会研修会】

・第 1 期　　令和 4 年 6 月 26 日（日）　第 70 回　オンライン「Zoom」
・第 2 期　　令和 4 年 9 月 18 日（日）　第 71 回　オンライン「Zoom」
・第 3 期　　令和 5 年 3 月 19 日（日）　第 72 回　オンライン「Zoom」or　対面

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】

・第 1 期　　令和 4 年 6 月 26 日（日）　第 41 回　オンライン「Zoom」
・第 2 期　　令和 4 年 9 月 18 日（日）　第 42 回　オンライン「Zoom」
・第 3 期　　令和 5 年 3 月 19 日（日）　第 43 回　オンライン「Zoom」or　対面

※学会研修会および資格講習会の非会員参加について

資格講習会ではオンライン開催においても、講師の了承が得られた場合には、以下の参加資格を設け、誓約書を提出してもらうことを条件に非会員の参加募集をおこなっていく。
［参加資格］①臨床心理士有資格者　②臨床心理士資格養成指定大学院生　③正会員の推薦を受けた者
研修会では非会員募集を行わない。

【常任理事会】

・第 1 回　　令和 4 年 6 月 26 日（日）　オンライン「Zoom」
・第 2 回　　令和 4 年 9 月 18 日（日）　オンライン「Zoom」
・第 3 回　　令和 4 年 12 月 2 日（金）　ホテルニューオータニ佐賀（佐賀県佐賀市）
・第 4 回　　令和 5 年 3 月 19 日（日）　オンライン「Zoom」or　対面

【理事会】

・令和 4 年度理事会　令和 4 年 12 月 3 日（土）　西九州大学 佐賀キャンパス（佐賀県佐賀市）およびオンライン「Zoom」

【総会】

・令和 4 年度総会　　令和 4 年 12 月 4 日（日）　西九州大学 佐賀キャンパス（佐賀県佐賀市）およびオンライン「Zoom」

日本臨床心理身体運動学会　令和３年度決算報告書

（令和３年４月１日～令和４年３月31日）

＜収入の部＞

費　　目	令和３年度予算	令和３年度決算
入会金	110,000	90,000
年会費	1,713,000	1,756,000
会費収入小計	1,823,000	1,846,000
研修会参加費	480,000	350,000
研修会参加費収入小計	480,000	350,000
講習会参加費	480,000	335,000
審査料（新規・移行）	30,000	10,000
登録料（新規・更新・移行）	110,000	70,000
課程認定	13,000	13,000
課程認定料	100,000	100,000
受取利息	0	41
資格認定費収入小計	733,000	528,041
紀要購読料	10,280	10,280
バックナンバー売上	5,140	18,120
出版事業収入小計	15,420	28,400
雑収入	100,000	20,825
その他収入小計	100,000	20,825
収入の部　小計	3,151,420	2,773,266
前年度より繰越	6,143,597	6,143,597
収入の部　合計	9,295,017	8,916,863

＜支出の部＞

費　　目	令和３年度予算	令和３年度決算
会報（SPACE）製作費	10,000	0
紀要製作費	470,000	544,900
紀要発送費	50,000	45,200
編集局業務委託費	132,000	132,000
通信費	15000	0
学会誌・編集委員会小計	677,000	722,100
大会援助金	200,000	200,000
会場費	20,000	0
指定討論者謝礼	240,000	240,000
雑費	5,000	2,500
研修委員会小計	265,000	242,500
講師謝礼	200,000	160,000
通信費	2.828	2,356
資格認定費（カード代）	13,000	16,940
雑費	10,000	21,436
資格認定委員会小計	225,828	200,732
通信費	100,000	99,340
印刷費	5,000	10,595
備品・消耗品費	40,000	26,517
会議費	100,000	18,000
交通・宿泊費	90,000	86,500
倉庫代	92,882	92,882
慶弔費	20,000	18,557
事務局業務委託費	759,000	759,000
雑費	13,000	12,100
事務局小計	1,219,882	1,123,491
ホームページ維持費	7,000	0
委員会運営費	10,000	0
学会積立金	300,000	300,000
雑損失	0	0
予備費	10,000	0
支出の部　小計	2,914,710	2,788,823
次年度へ繰越	6,380,307	6,128,040
支出の部　合計	9,295,017	8,916,863

監 査 報 告

令和３年度（令和３年４月１日から令和４年３月31日まで）の会計監査を行った結果、次のとおりご報告いたします。当期の経理状況および使途を正当に示すものであり、適正に処理されていることを認めます。

令和 4 年 10 月 21 日

監査　吉村　功　印

監査　田口多恵　印

日本臨床心理身体運動学会　令和４年度予算

（令和４年４月１日～令和５年３月31日）

＜収入の部＞

費　　目	令和３年度 決算	令和４年度 予算
入会金	80,000	130,000
年会費	1,740,000	1,820,000
会費収入小計	1,820,000	1,950,000
研修会参加費	315,000	420,000
研修会参加費収入小計	315,000	420,000
講習会参加費	305,000	540,000
審査料（新規・移行）	10,000	30,000
登録料（新規・更新・移行）	80,000	130,000
課程認定	13,000	13,000
課程認定料	100,000	0
受取利息	41	0
資格認定費収入小計	508,041	713,000
紀要購読料	10,280	15,420
バックナンバー売上	18,120	5,140
出版事業収入小計	28,400	20,560
雑収入	15	100,000
その他収入小計	15	100,000
収入の部　小計	2,671,456	3,203,560
前年度より繰越	6,143,597	6,143,597
収入の部　合計	8,815,053	9,347,157

＜支出の部＞

費　　目	令和３年度 決算	令和４年度 予算
会報（SPACE）製作費	0	10,000
紀要製作費	544,900	486,000
紀要発送費	44,160	50,000
編集局業務委託費	132,000	132,000
通信費	0	15,000
学会誌・編集委員会小計	720,900	693,000
大会援助金	200,000	200,000
会場費	0	20,000
指定討論者謝礼	240,000	240,000
雑費	2,740	10,000
研修委員会小計	242,740	270,000
講師謝礼	160,000	200,000
通信費	3,164	5,000
資格認定費（カード代）	16,180	18,000
雑費	21,436	5,000
資格認定委員会小計	200,780	228,000
通信費	89,660	100,000
印刷費	10,595	15,000
備品・消耗品費	25,584	40,000
会議費	18,000	100,000
交通・宿泊費	86,500	250,000
倉庫代	92,882	137,727
慶弔費	18,557	20,000
事務局業務委託費	759,000	772,200
雑費	13,605	28,000
事務局小計	1,114,383	1462,927
ホームページ維持費	0	7,000
委員会運営費	0	10,000
学会積立金	300,000	300,000
雑損失	0	0
予備費	0	10,000
支出の部　小計	2,778,803	3,180,927
次年度へ繰越	6,036,250	6,166,230
支出の部　合計	8,815,053	9,347,157

事務局より

○年会費納入のお願い

年会費を未納の方は、至急下記口座に入金してください。また、納入状況につきましては、事務局までお問い合わせください。

正会員　10,000 円　一般会員　9,000 円　準会員　7,000 円

＜振込先＞

送金口座	銀行対応
ゆうちょ銀行	店　　名：四四八（よんよんはち）
１４４６０－２９２３１２１１	店　　番：４４８
日本臨床心理身体運動学会	預金種目：普通預金
	口座番号：２９２３１２１

○年会費自動払込の手続きについて

年会費の自動払込手続きは、学会総会における決議事項であり、全会員にお願いしています。手続き未完了の方は自動払込利用申込書をご提出ください。申込書をお持ちでない方は、事務局までご連絡ください。

○住所・所属等の変更連絡のお願い

住所や所属等に変更があった場合は、速やかに事務局までご連絡ください。

○メールアドレス登録のお願い

事務局よりご連絡を差し上げる際に使用いたしますので、メールアドレスのご登録がお済みでない方は、下記事務局アドレスまでご連絡ください。

○退会申請について

退会をご希望の方は、年会費を完納した上で該当年度の **3 月 31 日まで**に書面の退会届（**署名・捺印要**）を事務局宛にご郵送ください。3 月末以降の申請となった場合、翌年度末退会となりますのであらかじめご了承ください。※退会届の様式は自由です。

例）

令和 5 年 3 月 31 日までに退会届を郵送→令和 4 年度末退会

令和 5 年 3 月 31 日以降に退会届を郵送→令和 5 年度末退会

○連絡先

日本臨床心理身体運動学会事務局

〒600-8449　京都市下京区新町通松原下ル富永町 107-1 株式会社 木立の文庫内

TEL：075-585-5277

FAX：075-320-3664

E-mail：office@rinsinsin.jp

編集後記

（仁里）

SPACE　　No.39
日本臨床心理身体運動学会　会報第 40 号
2023 年 4 月 1 日発行
日本臨床心理身体運動学会
会　　長　山中康裕
編集責任　仁里文美
事務局　〒600-8449
京都市下京区新町通松原下ル富永町 107-1
株式会社 木立の文庫内
TEL：075-585-5277
FAX：075-320-3664
E-mail：office@rinsinsin.jp